

思いを巡らせて

R5.2.6

土粘土をやっているとチラッとその様子を見ながら通り過ぎて、違う遊びを始めた A ちゃん。

しばらくするとやってきて・・・

始めは、保育士の後ろから覗き込むように様子を伺っていました。

じーっと見つめ考え込んだ後、丸められた土粘土に手を伸ばして触れます。

緊張した表情の A ちゃんが、徐々に笑顔になって遊び始める姿がありました。



ツルツルしてる！
冷たいな！
面白い！

先生やお友達
なにやっているんだろう？
なに触っているのかな？

遊びの中で、子どもたちが「やりたい！」と思えるタイミングを大切にして、「いつでもやりたい時にやろうね」と大人がどっしり構え、待っていてあげられるようにしています。今後も、子どもの一瞬一瞬の表情や何気ない一言を見逃さず、子どもの思いに寄り添っていきたいと思います。